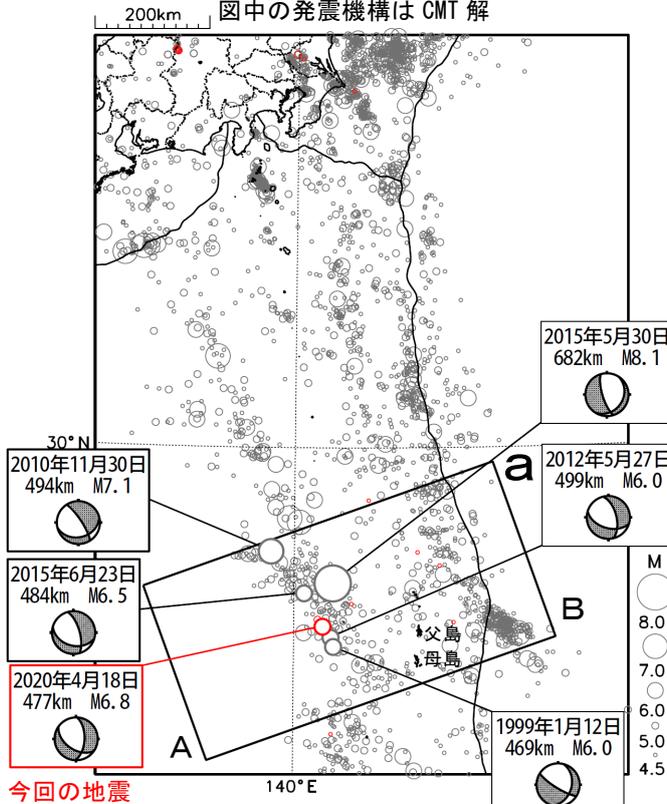


## 4月18日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2020年4月30日、  
深さ0～700km、 $M \geq 4.5$ )  
2020年4月の地震を赤く表示  
図中の発震機構はCMT解



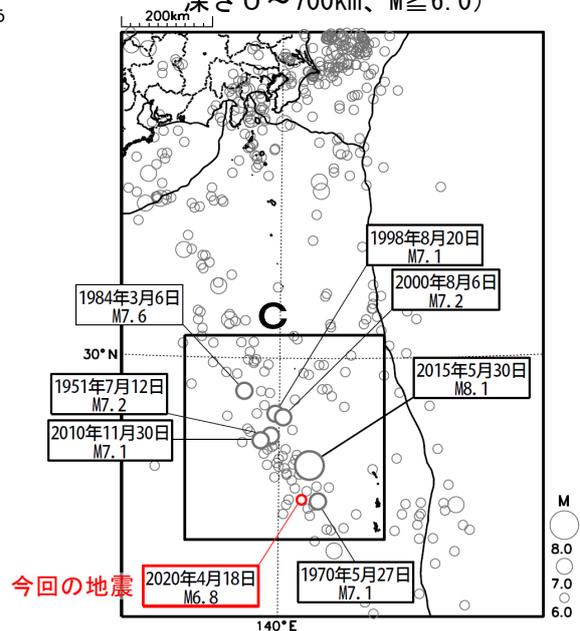
2020年4月18日17時25分に小笠原諸島西方沖の深さ477kmでM6.8の地震(最大震度4)が発生した。この地震により、東京都小笠原村母島で震度4を観測したほか、東北地方から九州地方にかけて震度2～1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生している。また、今回の地震の震源から約200km深いところでは、2015年5月30日にM8.1の地震(最大震度5強)が発生し、東京都で負傷者3人、埼玉県で負傷者3人、神奈川県で負傷者2人等の被害が生じた(総務省消防庁による)。

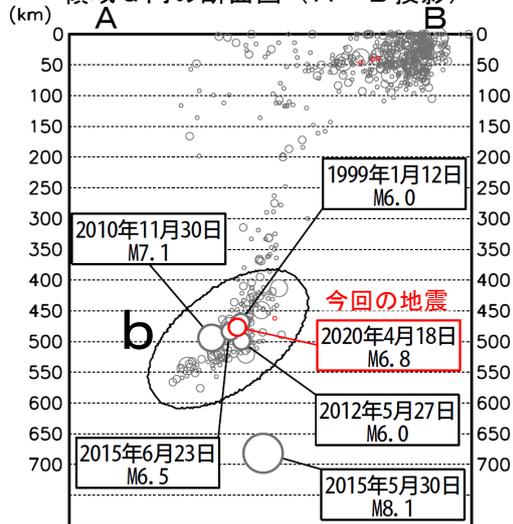
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が時々発生している。1984年3月6日にはM7.6の地震が発生し、死者1人、負傷者1人等の被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

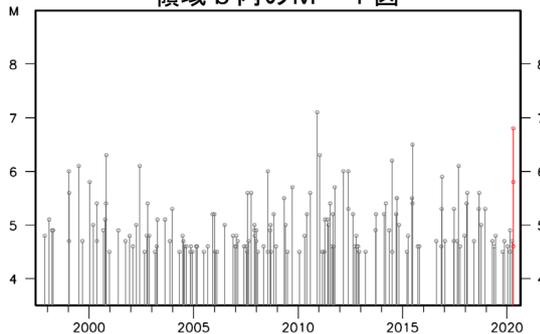
(1919年1月1日～2020年4月30日、  
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$ )



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

